

公共哲学・聖学院フォーラム

公共哲学共働研究所

聖学院大学総合研究所

テーマ	日本における教会の意義と役割の再検討——公共する教会とは
-----	------------------------------

開催日時： 9月30日～10月1日

会場： 聖学院大学 エルピスホール

コーディネーター 金泰昌（公共哲学協働研究所 所長）
深井智朗（聖学院大学総合研究所助教授）

2005年9月30日（金）

時間	プログラム	詳細・講師・司会など
9:00	開会挨拶	矢崎勝彦 京都フォーラム事務局長 大木英夫 学校法人聖学院理事長・院長、聖学院大学総合研究所 所長
9:10	趣旨説明 日程プログラム説明	金 泰昌 深井智朗
9:15	プログラム A 講演 (25分)	「教会の公共性 —日本における教会の意義と役割 (1) カトリック」 高柳俊一（上智大学名誉教授）
9:40	ディスカッション (40分)	司会 藤原淳賀（聖学院大学総合研究所助教授）
10:20	休憩（全学礼拝）	
11:00	プログラム B 講演 (25分)	「教会の公共性—日本における教会の意義と役割 (2) プロテスタント」 深井智朗 （聖学院大学総合研究所助教授）
	ディスカッション (45分)	司会 藤原淳賀
12:10	昼食休憩（エルピス・ホール）	

13:30	プログラム C 講演 (25分)	「教会の公共性－日本における教会の意義と役割 (3) 無教会」 村松 晋 (聖学院大学人文学部日本文化学科専任講師)
	ディスカッション (45分)	司会 藤原淳賀
14:40	休憩	
15:10	プログラム D シンポジウム「教会の公共性」 各報告 (20分)	コーディネーター 深井智朗 「教会は公共の場としての可能性－アフリカに学ぶ日本の教会」上村 敏文 (ルーテル学院大学助教授) 「教会の公共性・聖公会神学の理解から」 西原 廉太 (立教大学文学部キリスト教学科長、助教授)
	ディスカッション (60分)	「『本質的共同体』としての教会」 藤原 淳賀 (聖学院大学総合研究所助教授)
17:10	総合討議	司会 深井智朗 (聖学院大学総合研究所助教授)
18:30	夕食	緑聖ホール
20:00	休会	学バス 20時10分発 宮原・日進行き

2005年10月1日(土)

時間	プログラム	詳細・講師・司会など
9:00	プログラム E 講演 (25分)	『『公共する』時空としての教会』 金 泰昌 (公共哲学共働研究所所長) 司会 深井 智朗
	ディスカッション (50分)	
10:15	休憩	
10:30	プログラム F シンポジウム「宗教 の公共性——教会と 社会」 part1 企業と教会 part2 行政機関 (自治体)と教会 part3 NPOと教会 各報告 (20分)	コーディネーター 深井智朗 速水 優 (前 日銀総裁・聖学院大学総合研 究所全学教授) 郡司 篤晃 (聖学院大学大学院教授) 藤田 幸久 (NPO代表・民主党代議士)
	ディスカッション (30分)	
12:00	昼食休憩 (エルピス ホール)	
12:45	プログラム G シンポジウム 「日本の共同論と教会」	コーディネーター 藤原淳賀 「公共神学か公共社会論か——政教分離論の視 点から」森本 あんり (国際基督教大学教授) 「CSR (企業の社会的責任) の時代と礼拝共 同体=キリスト教の公共性と大原孫三郎」 東方 敬信 (青山学院大学教授) 「日本の共同体をめぐって——森有正・和辻哲郎・ 国学 (宣長)」清水 正之 (東京理科大学教授)
14:00	総合討論	司会 金 泰昌 (公共哲学共働研究所所長)
16:00	閉会挨拶	阿久戸 光晴 (聖学院大学学長)